第32回 高山市近代文学館企画展 明治時代後期の俳句会

会場 高山市図書館「煥章館」

2/20(土)
21(日)

高山市文化協会では、郷土の文化を高めた文学者の経歴と功績を紹介し、高山の文学の発展に寄与する目的で、「近代文学館企画展」を定期的に開催しています。

今回は、明治時代後期に盛んに行われた俳句会に焦点を当てます。河東碧梧桐を中心に瀧井孝作、福田鋤雲らが参加した松泰寺俳句会での作品から、当時の俳句会の様子をご紹介します。

松泰寺での句会の様子

◇日時 二月二十日(土)・二十一日(日) 午前十時～午後五時(最終日は午後四時まで)

◇会場 高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール
◇入場無料

瀧井孝作(たきいこうさく) 河東碧梧桐に師事し俳句の道に入った。芥川龍之介、志賀直哉らの知遇を得て文筆活動が旺盛となり、昭和二年に代表作『無限抱擁』を発表。

昭和四十九年『俳人仲間』で日本文学大賞を受賞。昭和十年の芥川賞創設から五十六年まで選考委員を務めた。俳句を生涯の友とし『瀧井孝作全句集』などがある。作品は『瀧井文学』と評され、トツトツとした中にも独特の味わいを持つ。

福田鋤雲(ふくだじょうゆん) 福田夕咲の兄。旧派の俳人だったが、河東碧梧桐の来高(明治四二年)を機に新派へ

と転じ、同年長瀬素烏瓶らと『笹魚吟社』を創立。大正三年弟の夕咲らと同人誌「ツチグモ」を創刊した。

【飛騨人物事典抜粋】

小鳥良々(おどりょうりょう) 河東碧梧桐に師事し、明治の終わりから大正にかけて瀧井孝作や福田鋤雲らと交流。新傾向俳句結社「素顔吟社」の同人。名句を残したが、晩年は句作から遠ざかった。東京で客死。

【飛騨人物事典抜粋】

令和4年のテーマは、干支「寅」と歌会始のお題です(お題は歌会開催延期のため未発表)。また、令和3年7月16日(金)～18日(日)に、東京オリンピック記念飾り物展の開催を予定しています。皆様のご応募をお待ちしております。

令和3年 新春飾り物展

審査結果

1月15日(金)～17日(日)に開催した「新春飾り物展」には、たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。審査結果は次のとおりです。(敬称略)

●干支「丑」

◇天位「闘牛」 長瀬力造(石淵町3)

◇地位

「隠岐の牛突き」 柏 信之(八幡町)

◇人位

「放牧」 豊明台細飾物同好会(大新町1)

「安福とその子孫」 川原 強(八幡町)

◇飾物同好会賞

「牛の親子」 西村孝信(下岡本町)

◇佳作

「使いの牛」 永田誠人(大新町1)

「農耕図」 岩島修三(山田町)

「安福号とその産子たち」 粟瀬新一(一之宮町)

●ヤングチャレンジ部門

◇入賞

「ステイ密舎」 岡村奏音(斐太高校)

「密です!!」 直井望依(斐太高校)

「ギューギュー」 中舎慶次郎(斐太高校)

●歌会始「寅」

◇天位「実生え」にんじん会(天満町)

◇地位

「神実(かんざね)」 橋本 大(八幡町)

◇佳作

「世に明かりを灯す科学実験」 宮部龍彦(大新町1)

「実りの千枚田」 三橋恵美子(川原町)

「岡目(目)」

「金も欲しいが命も惜しい」。この矛盾の中で、ついにまた緊急事態宣言。

「GOTO」の試みも、人の足を止めれば旅行業や飲食業は成り立たない。しかし、緩めればコロナは広がる。しんびきしている内に「GOTOトラブル」になってしまった。

この二律背反、つまり「あちらを立てればこちらが立たず」。先人も「立つ鳥跡を濁さず」と言い乍ら、「後は野となれ山となれ」なんて全く逆のことを言っている。

文化事業も音楽や芝居などで中止や延期が続いた。どこかの音楽プロデューサーが言っていた。「コーラスで全員マスクをして、ソーシャルディスタンスを取り乍ら歌う時の、発声の難しさ」を。

そんな中で、高山市文化協会は昨年、神田伯山や三遊亭円楽などを呼んだ。本物の生の文化を、市民は楽しめた。コロナ予防指針に従い、客席の距離を保ちつつ、チケット完売で好評だった。やり方がある。

コロナが止まらない中で、文化もやり方に工夫が要る。難しいけれど……

(ガンモン毛筆)

市民文化芸術鑑賞事業

主催 | 高山市・(一社)高山市文化協会 | お問い合わせ | (一社)高山市文化協会 (tel.34-6550)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席数減にて上演します。
体調不良の方は、来場をご遠慮ください。来場の際には、マスクの着用をお願いします。

ワンコイン500円映画を楽しめます! ワンコインシネマ

兵士に追われ赤ん坊を抱えた老女は、滝から落ちながらも自らの命と引き換えにその子を守る。近くの村人に拾われ、シヴドゥと名付けられて遅く育った青年は、偶然拾った仮面に惹かれ滝の上の世界を目指す。仮面の持ち主である女戦士アヴァンティカは、滝の上の王国を解放しようと戦っていた。その戦いに参加したシヴドゥは、自分が前王パーバハリと瓜二つであることを知る。

バーバリ 伝説誕生
2/13 上映時間138分
(テルグ語音声・日本語字幕) **R15+**
高山市民文化会館 小ホール

①午前10時~②午後2時~(開場各30分前)

全席自由 **500円** (1回券) 定員 200名

©ARKA MEDIWORKS PROPERTY. ALL RIGHTS RESERVED.

湯山昭の音楽

What The World Needs
Akira Yuyama

花里山
東山
中学校
の
校歌の
作曲者

地元コーラスの参加は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、取りやめとなりました。

湯山昭の音楽を7組のプレイヤーがトリビュートするコンサート

2/27 午後3時開演 / 午後2時15分開場
高山市民文化会館 大ホール

チケット料金(税込) 全席指定
[一般].....S席 3,500円・A席 2,500円
[メセナメイト会員].....S席 3,000円・A席 2,000円
[ジュニア(18才以下)].....S席・A席共に 500円
※3歳児未満入場不可

高山市民文化会館
チケットぴあ [Pコード190-967]
ネット受付
<https://ws.formzu.net/fgen/S53391656/>
チケット好評販売中

延期公演

トム・プロジェクト プロデュース

演劇

出演: 榊原郁恵、岡本麗 他

仲の悪い母娘二人住まいの家に通うホームヘルパーが、母と娘それぞれから相手の事を調べてほしいと頼まれることから始まるホームコメディ。娘の不倫と母のガンパル癌、そして主人公の死んだ父親と母娘の関係が絡み合い、問題は複雑になっていく。そんな中、母親に認知症の疑惑が浮上し……。痛快! ホームコメディ!!

3/5 午後7時開演 / 午後6時15分開場
高山市民文化会館 大ホール

チケット料金(税込) 全席指定
[一般].....3,000円
[メセナメイト会員].....2,500円
[ジュニア(18才以下)].....1,000円
※未就学児入場不可

高山市民文化会館
ネット受付
<https://ws.formzu.net/fgen/S54149033/>
チケット好評販売中

高山市文化協会賛助会員

文化協会の活動を支援いただいている法人等です。
ご支援ありがとうございます。(50音順、敬称略)

東流舞踊研究所	株式会社 トーエネック高山営業所
株式会社 アリス	トーヨー事務器 株式会社
株式会社 伊千呂	なべかま
株式会社 伊藤薬局	株式会社 鍋島商店
株式会社 岩佐鐵工所	二木酒造 株式会社
打保法律事務所	株式会社 二反田工務店
株式会社 打保屋	日進木工 株式会社
遠藤隆浩税理士事務所	株式会社 丹生川観光
大垣共立銀行	濃飛乗合自動車 株式会社
柏木工 株式会社	株式会社 挾土組
株式会社 栗本生花店	飛騨印刷 株式会社
株式会社 ゴアヘッドワークス	飛騨会計事務所
有限会社 コサカ楽器	飛騨建設 株式会社
(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会	飛騨産業 株式会社
阪下法律事務所	ヒダシキ 株式会社
山都印刷 株式会社	飛騨信用組合
株式会社 三礼	斐太石油 株式会社
株式会社 十六銀行高山支店	飛騨高山森林組合
株式会社 松華堂文具店	医療法人天照会ひだ高山整形外科
新興自動車 株式会社	株式会社 飛騨庭石
崇敬 真光	株式会社 ひだホテルプラザ
株式会社 洲ささ	飛騨酪農農業協同組合
株式会社 スズキ薬局	飛騨冷凍空調 株式会社
特定医療法人人生仁会 須田病院	飛雄建設 株式会社
株式会社 駿河屋魚一	有限会社 平瀬酒造店
株式会社 瀬木油店	株式会社 平田酒造場
株式会社 第一産業高山本店	有限会社 フジ企画広告事務所
医療法人敬愛会 高井整形外科眼科医医院	平和メディク 株式会社
高山金融協会	株式会社ペガサスseiso
株式会社 高山グリーンホテル	前越路子税理士事務所
高山市商店街振興組合連合会	株式会社 マツクラ産業
株式会社 高山市民時報社	株式会社 丸進工機
高山信用金庫	丸仲建設 株式会社
有限会社 高山石材	有限会社 丸山建築
高山米穀協業組合	株式会社 みの谷
高山祭屋台保存技術協同組合	名鉄観光サービス株式会社 高山支店
田中勝彦税理士事務所	有限会社 モーツァルト
株式会社 たびの恵み	有限会社 モンビル
株式会社中日AVシステム 飛騨営業所	有限会社 ゆはら染工
中部電力パワーグリッド(株) 高山営業所	有限会社 協陣
東罐高山 株式会社	

会員募集

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。ぜひご入会していただき、高山の文化を応援してください。

- 年会費 個人4,000円、団体7,000円、賛助(企業)12,000円
- お申込み先 (一社)高山市文化協会 tel.0577-34-6550

●各種特典ございます。詳しくは、お問い合わせください。